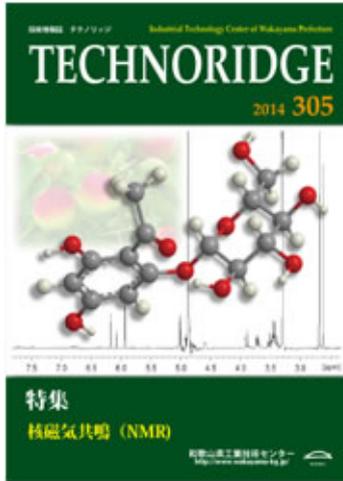


技術情報誌「テクノリッジ305号」を発行しました



テクノリッジは、和歌山県工業技術センターの技術情報誌として年間4回、その時々情報を関連企業の方々にお知らせする情報誌です。

現在、県内外の企業や団体、約300社に送付しご愛読いただいています。今回発行の305号では「核磁気共鳴 (NMR)」と題して以下の内容を掲載しています。

- ・ 巻頭言
- ・ NMRでわかること
- ・ 複雑な構造でもわかります！ ～二次元NMR～
- ・ 変化量もわかります！ ～合成反応の追跡～
- ・ いろいろな元素も測れます！ ～多核NMR測定～
- ・ 混ざっていても大丈夫！？ ～DOSY測定～
- ～固体NMR測定～

・ 溶けなくても測定できる？

核磁気共鳴 (NMR : Nuclear Magnetic Resonance) 装置は、非破壊で測定試料の分子構造、原子同士の結合状態、相互作用、原子の置かれている環境などを分析できるという利点があり、化学・高分子・生命科学・食品・製薬など幅広い分野に応用されています。

本号では、NMRで何がわかるのか？について簡単に解説した後、NMRの活用事例として、「二次元NMRによる梅果肉抽出物の構造解析 (P.4)」、「エステル合成反応の追跡 (P.5)」、「多核NMR測定によるリンの酸化状態の分析 (P.6)」、「DOSY法による混合物中の各種成分の分析 (P.7)」、「D-グルコースの固体NMR測定 (P.8)」などについてご紹介します。

※ なお、詳細については下記のURLをご参照ください。

[☞ センターの刊行物](#)

掲載日付: 2014 年 12 月 01 日